

第9回 SPARC Japan セミナー2008
「SPARC選定誌がやってきたこと」

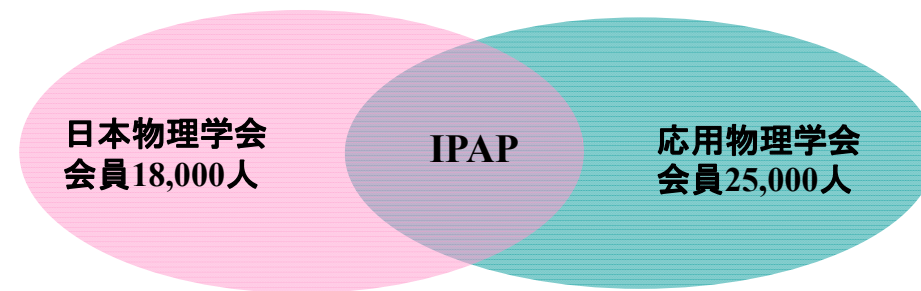
SPARC活動と物理系ジャーナル・・・現状と課題

日本物理学会 応用物理学会
物理系学術誌刊行センター
鈴木 英則



物理系学術誌刊行センター(IPAP)とは

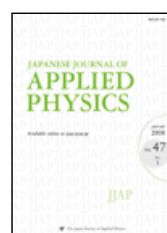
- ・1962年：応用物理学欧文誌刊行会(日本物理学会と応用物理学会により創設)
- ・2000年：物理系学術誌刊行協会 (Institute of the Pure and Applied Physics)に改組
- ・2008年：2つの学会の共通の内部組織として再編



物理系パートナー誌



Journal of the Physical Society of Japan (JPSJ)
1946年創刊, 年約3,500ページ



・Applied Physics Express (APEX)
2008年創刊, 年約1,000ページ

・Japanese Journal of Applied Physics (JJAP),
1962年創刊, 年約9,000ページ



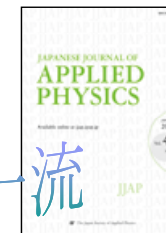
Progress of Theoretical Physics (PTP)
1946年創刊, 年約2,400ページ



物理系パートナー誌の特長



■JPSJ
・長い歴史と伝統
・IF=2.212



■APEX
・2008年1月創刊
・ハイインパクト、速報性

■JJAP
・応用物理分野で、総引用数世界第3位
・IF=1.247



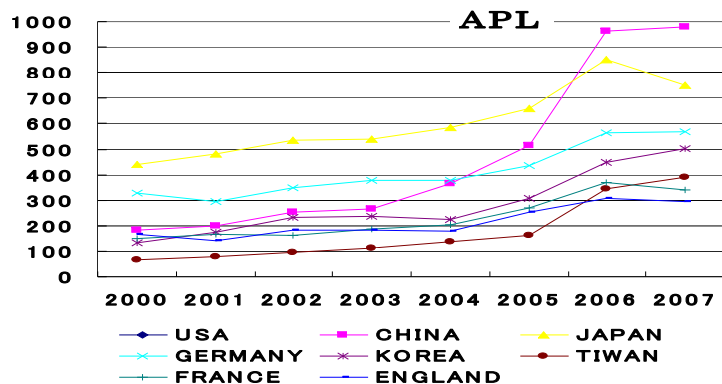
■PTP
・湯川博士が創刊した理論物理ジャーナル
・IF=1.936

日本の研究水準は世界で一流

物理系ジャーナル・・・世界の動き

- 寡占化の進行
欧州の物理誌 → European Physical Journalへ統合
- 中国などアジアの台頭

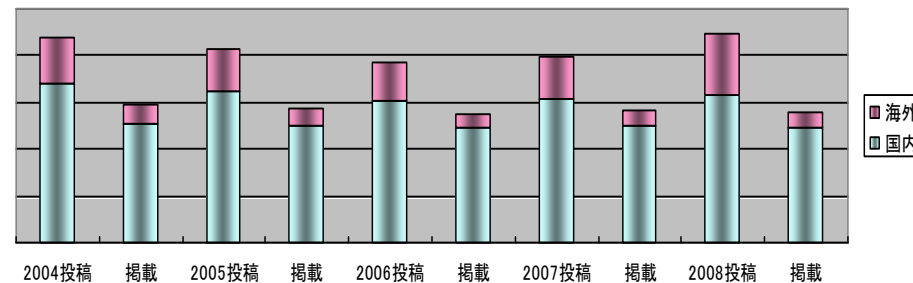
海外誌(APL)
への国別
掲載論文数
(米国以外)



投稿状況

- ・日本からの投稿が大部分。
- ・次はアジアで、中国、韓国、インド、米国、台湾・・・の順

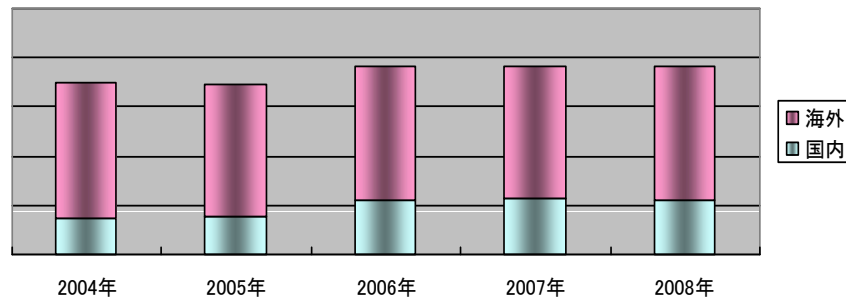
■JPSJの過去5年間(2004~2008)の投稿論文数と掲載論文数



購読状況

- ・海外購読が国内の2.5~3倍。
- ・米国、韓国、ドイツ、中国、台湾の順

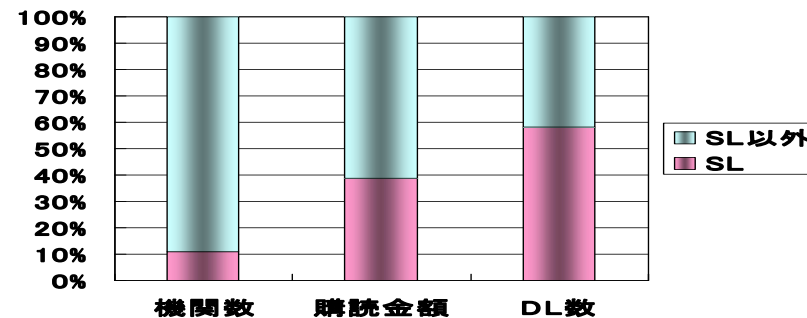
■APEX/JJAPの過去5年間(2004~2008)の購読機関数の推移



サイトライセンスの推進

- 2004年：オンライン版の有料化
- 2005年：一部の大学・研究機関にサイトライセンスを実施
DL数、学会会員数、補助金額などを基準にTier分け
- 2009年：9機関 → 16機関へと増加 (JPSJ)
冊子購読を中止。オンラインのみという形態も発生

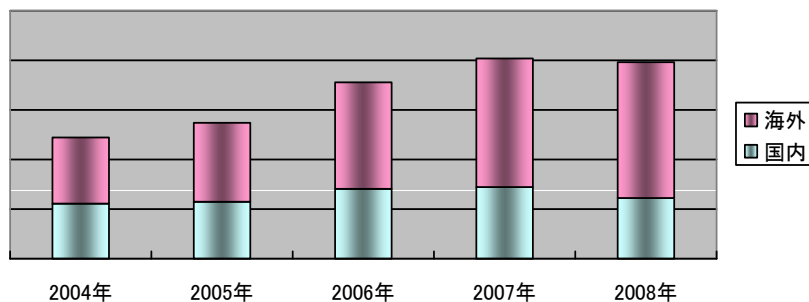
■国内でのサイトライセンスの比率 (JPSJ)



閲読状況

- ・ JJAPは海外からのダウンロードが多い。
特に台湾、韓国

■ JJAPの過去5年間のダウンロード数の推移



広告宣伝

- ・ 海外図書館向け購読案内パンフ
- ・ EメールAlert
- ・ トライアルユーザ（登録すれば、直近の3ヶ月分は無料購読）
- ・ 海外の主要な大会へ出展

■ 米国物理学会の年次大会へ出展(2008年3月)



米国物理学会展示の様子

- ・ 2009年3月、SPARCの支援を得て継続出展予定
- ・ 日本のおみやげ（団扇など）が大人気
- ・ 編集関係者が出席、研究者と直接対話

IPAPのブース



米国物理学会のブース



情報システムの開発

■ Web投稿・審査システム

- ・ 中規模から大規模ジャーナル（年間600論文数以上）向けの論文投稿審査をオンラインで支援するシステム
- ・ 開発後の編集方針の変更にも柔軟に対応出来るよう過度な自動化を回避、汎用性を持たせた。

■ オンラインジャーナルシステム

- ・ 創刊号からの電子アーカイブ完成
- ・ 約12万論文、約62万ページ

SPARCの支援

Open Access への対応

■ Open Selectの開始

- ・著者負担 (Full Papers: ¥100,000 Letters: ¥60,000)
- ・JPSJ: 2008年1月から開始
- ・APEX/JJAP: 2008年9月から開始
- ・Open Select対象論文のダウンロードは倍増

■ 機関リポジトリ (最終著者版を認可)

■ 掲載後3ヶ月間のFree Access (トライアルユーザ)

海外動向の把握 (SPARCの支援)

欧米の取組を肌で感じる機会

■ Online Information

業界動向を手っ取り早く把握するには有効

■ STM

- ・セミナー : ジャーナル制作や今後の動向
- ・カンファレンス: 出版マネジメントやマーケティング
- ・Board Meeting: 『中国への強い関心』と『日本への無関心』

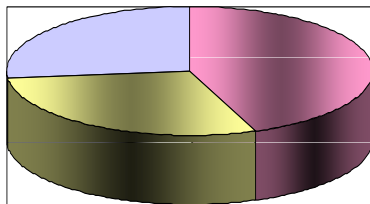
■ CrossRef

- ・従来: レファレンスリンクを張る仕組みの提供
- ・最近: 集まったメタデータの活用

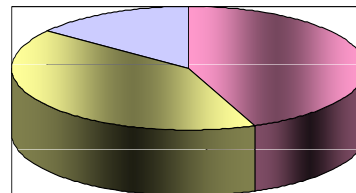
収入構造

欧米有力誌は掲載料が無料 → 購読収入の拡大が重要

JPSJ



APEX/JJAP



■ 購読料
■ 掲載料
■ 科研費

今後の課題

■ 品質の向上 (編集体制の強化)

- ・海外エディターの拡充
- ・pre-screeningの実施
- ・査読者DBの整備

■ 海外への情報発信拡大

- ・海外からの投稿・購読・引用の拡大

■ システムインフラの整備

- ・オンラインシステムの見直し

など

- ありがとうございました。
- ご支援いただいたSPARCには、心から感謝いたします。

www.ipap.jp